

# 広告特集

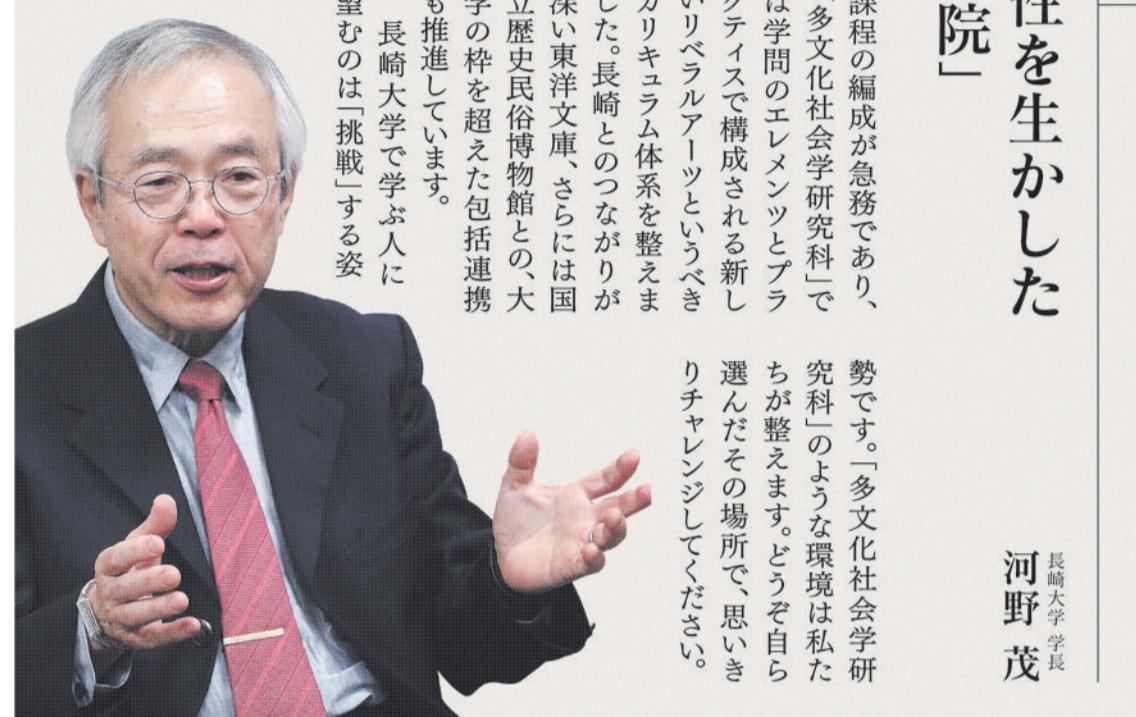
企画・制作  
朝日新聞社メディアビジネス局

長崎大学に新設される本研究科は、文理の枠組みを超えた幅広い教養（基盤必修科目群）を修得し、その成果を基にして実践的に総括していくという、進化したリベラルアーツを目指している。

首藤教授（研究科長就任予定）に、本研究科の特色や魅力、これから展望などを聞いた。

## 長崎大学大学院 多文化社会学研究科 2018年4月開設

# 対立や紛争を理解し 解決への道筋を拓く



河野 茂  
長崎大学学長

近年、国立大学が法人化され少子高齢化が進み受験生が減少する中、国立大学にも確たる個性が求められています。では、長崎大学はどこに光るものがあるのか。どこを伸ばしていくのか。その答えのひとつが人文社会系の「多文化社会学部」です。背後に立歴史民俗博物館との大深い東洋文庫、さらには国際問題のアナリスト、発掘調査員、マーケッター、国際機関スタッフなど「尖った」グローバルに通用する教育

科学系大学ならではの個性だ

と思います。これにより文

理9学部がそろいました。

そして、新しい人文社会

科学系大学院が開設しま

す。大学院においては

グローバルに通用する教育

開かれた問題群に挑む  
日本で唯一の  
「尖った大学院」

## 開明性と多様性を生かした 「挑戦する大学院」

### 学長メッセージ

課程の編成が急務であり、「多文化社会学研究科」では学問のエレメンツとプラクティスで構成される新しいリベラルアーツというべき

河野 茂  
長崎大学学長

1990年代初頭の東西冷戦構造の崩壊から、世界の枠組みは大きく変わった。イデオロギーだけでなく文化や宗教などのさまざまな要素が対立軸となり、さらに欧米中心からアジア・アフリカなどを含めたボーダーレスな多中心的世界に転換していった。このような多文化社会的状況では、政治・経済・社会・歴史はもとより、科学、技術、心理、身

開かれた問題群に挑む  
日本で唯一の  
「尖った大学院」

体、自然等の問題群が錯綜しており、既存の学問的分業ではその状況に十分に応えられない。例えば福島原発事故への対処は、人文社会系と自然科学系の枠組みを超えた知識が必要。つまり時代や社会が、学問を超えて劇的に転換しているのだ。

このような状況の中で、「多文化社会学研究科」は、人文社会系グローバル人材の育成」を目的として2014年度に設置した「多文化社会学部」の学術的専門性と社会的な実

践性を二層高めるために構想された。「文部科学省から待されています」と語る首

藤教授。その「尖った」個性はチャレンジ精神にあふれたカリキュラム体系にある。

本研究科では全員が必修の学問のエレメンツ（基盤必修科目群）で問題の本質を見極める力と、専門知の領域を超えた活用のための力を養成する。そして学問のプラクティス（専門・実践科目群）で、多様な利害関係の立場を考慮しながら最善の解決策を提示する、問題解決型の実践研究を進めていく。

学問のエレメンツとプラクティスの両軸を連携・統合・展開する体系はリベラルアーツを現代の錯綜した社会状況に合わせ、さらに発展させたものだ。この21世紀型リベラルアーツの特徴は、従来の学問領域を超えた専門性。「専門を深めるだけでなく、専門を広げていく画期的なカリキュラムです」と首藤教授は説明する。

「トリンガル（3ヵ国語を話す）がスタンダードなのも特徴」と首藤教授は言う。「何かを生み出す雰囲気」がすでに出来上がりつつある

ところのできる人材を育成する。キーワードは幅広い教養と専門知。本研究科は領域の両側面から、人道・安全保障・経済の問題について専門的解決を図っていく。

出願前に必ず希望する指導教員と事前に連絡を取り、受験や研究内容・指導言語について十分相談しておく必要があります。指導教員の連絡先がわからない場合は、長崎大学文教地区事務部（多文化社会学部担当）へメールで希望する指導教員及び研究内容を連絡してください。（E-Mail:hss\_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp）

### 教員・院生一体の アクティブな雰囲気

人材育成の例として注目したいのが「多文化社会学セミナー」。これは、科目群ごとに分かれている院生が共に履修する領域横断型のもので、ひとつの学問領域では解

決不可能な多文化社会状況に、実践的な解決の道筋を見出だす力を養成する。

少人数教育を基本とし、講義・演習はマンツーマン的で細かな教授法やディスカッションを重視している。

長崎大学は、公益財團法人・東洋文庫と包括連携協定を結んでいます。東洋文庫は、長崎造船所などでこの地とつながりの深い三菱財閥第二代当主・岩崎久彌が設立した、東洋学分野で日本最大の図書館。世界五大東洋学研究図書館のひとつにも数えられている。

河野 茂  
長崎大学学長

長崎大学大学院多文化社会研究科は、東洋文庫と連動して「多文化社会学」の学術的な専門性と社会的な実践性をより高めていく。具体的には、東洋文庫研究員による長崎大学での集中講義開講、セミナー等の実践的な解決の道筋を見出だす力を養成する。

東洋文庫の資料を活用しながらの研究指導、アジア歴史世界の史料研究、世界各国との学術交流協定をベースとした研究指導を実施する。世界唯一の多文化社会学・東西研究教育拠点として、オリエンタルスタディーズの体系的提供にも期待を寄せていている。

国立歴史民俗博物館とも包括連携協定を結んでいる。博物館の研究者による講義、院生への

能力も開く。長崎大学と東洋文庫、のコラボレーションは、教員のレベル向上や、カリキュラムのさらなる充実だけでなく、多文化社会学における「人文科学系×社会学系」という新たな学問への利用も計画されている。

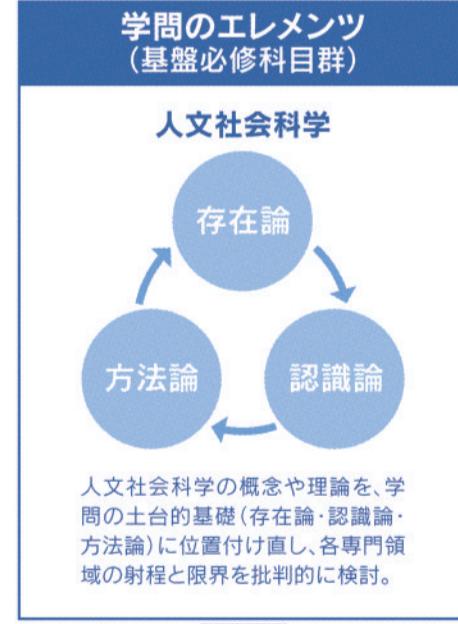
東洋文庫、国立歴史民俗博物館と連携長崎大学は、公益財團法人・東洋文庫と包括連携協定を結んでいます。東洋文庫は、長崎造船所などでこの地とつながりの深い三菱財閥第二代当主・岩崎久彌が設立した、東洋学分野で日本最大の図書館。世界五大東洋学研究図書館のひとつにも数えられる歴史資料・文献等の利

用も計画されている。

長崎大学と東洋文庫、のコラボレーションは、教員のレベル向上や、カリキュラムのさらなる充実だけでなく、多文化社会学における「人文科学系×社会学系」という新たな学問への可

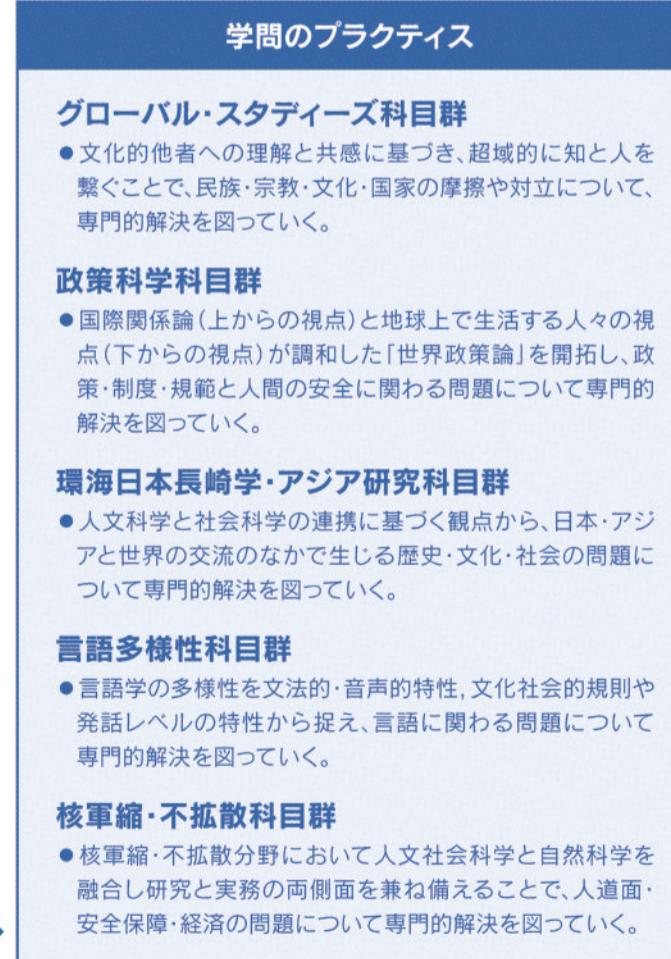
能性も開く。

河野 茂  
長崎大学学長



**多文化社会学の修得**  
専門知を超越的に活用し、方法論としての成熟化を図る。

**徹底的な専門性の養成**



## 平成30年度入試概要 長崎大学大学院 多文化社会学研究科

専攻名称	入学定員	学位名称
多文化社会学専攻	10名	修士（学術）
出願期間	平成29年12月11日(月)～12月22日(金)17:00	
入学試験日時	平成30年2月13日(火)	9:30～11:30 12:30～14:00 14:30～
		120分 90分 面接

### 新研究科の求める人材像

- グローバル世界の人間と社会・文化を理解し、課題に挑戦する人材
  - 国際社会の問題を発見し、将来への展望を見出す人材
  - 多様な文化や歴史を踏まえ、人類の発展と幸福に貢献することに关心を持つ人材
- 出願前に必ず希望する指導教員と事前に連絡を取り、受験や研究内容・指導言語について十分相談しておく必要があります。指導教員の連絡先がわからない場合は、長崎大学文教地区事務部（多文化社会学部担当）へメールで希望する指導教員及び研究内容を連絡してください。（E-Mail:hss\_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp）

国立大学法人  
**長崎大学**  
NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学文教地区事務部学務課（多文化社会学部担当）  
〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14  
電話:095-819-2975  
Mail:hss\_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp  
http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp  
長崎大学多文化社会学研究科スマホサイト

